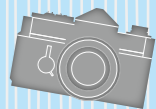


まちの話題



あなたの周りの身近な出来事や話題をお知らせください。
問い合わせ 市広報秘書課 ☎ 43・8113



世界遺産の古墳にも被害

平成30年7月豪雨



▲今回の豪雨で崩れた新原・奴山古墳群の30号墳

梅雨前線の影響によって7月5日から7月8日にかけて、西日本の広い範囲で豪雨となりました。福岡、佐賀、長崎、広島、岡山など11府県では大雨特別警報が発表されるなど甚大な被害が発生しました。市内には7月5日に大雨警報、7月6日に洪水警報が発表されました。市では災害が発生する恐れがあることから、災害対策本部を設置。手光今川の上流では水位が上昇し、道路が崩れ、通行ができなくなったことから、9世帯18人に避難指示を発令しました。土砂災害警戒区域の住民に対しては避難勧告を発令し、初めて8カ所の避難所を開設しました。また土砂崩れが発生し、県道の通行止めや家屋への被害もありました。

市内では人的被害はありませんでしたが、広島や岡山などで200人を超える人が亡くなっています。これからの時期は台風が多く発生します。皆さんも避難所を確認するなど万が一に備えましょう。

漂着したウミガメを海に帰す

世界遺産登録1周年を記念したイベントを開催



▲一歩ずつ懸命に進むウミガメ。海に帰っていくと会場は拍手に包まれました

市内の新原・奴山古墳群の世界文化遺産登録から1年がたちました。これを記念して、福岡市中央区のエルガーラホールなどで記念イベントを開催しました。天神のパサージュ広場ではあんずの里市の野

その中継点の1つの白石浜では、今年1月に勝浦海岸で発見され、マリナーワールド海

の中道で保護されていたアカウミガメを海に帰しました。その姿を一目見ようと約200人が集まり、ゆつくりと砂浜を歩むウミガメを応援していました。この瞬間に立ち会えて良かった」と語ってくれました。

慣れない田植えで泥だらけ

親子ふれあい田植え体験



▲泥に足を取られながら苗を植える参加者

西郷川花園横の水田で、6月17日に親子ふれあい田植え体験を開催しました。参加したのは市内外から集まった親子およそ200人。西郷川花園管理農業者会の皆さんから苗の植え方を教わった後、家族やグループごとに区分けされた範囲に苗を植えていきま

した。歩き慣れていない水田は一歩進むごとに足を取られます。参加者は滑って尻もちをついたり、服を泥だらけにしたりしながら、田植えを楽しんでいました。

地域商社設立に向けて

地域おこし協力隊が活動開始



▲直売所で話を聞く肥塚さん(左)と野瀬さん(中央)

市の産品の販路拡大や高付加価値化などに取り組む「地域商社」設立に向けて、6月から地域おこし協力隊として肥塚勇さん、野瀬瑠美さんの2人が活動しています。これまで販売業や青果商社に勤めてきた肥塚さんは「市の第一次産業を盛り上げるために、今まで培った経験をここで生かしたい」と抱負を語っていました。

中高生と市長、副市長が意見交換会

「福津つ子未来のディスカッション」が行われました



▲中学1年から高校1年までの6人が参加しました

市内の中学・高校生と市長、副市長との意見交換会が6月30日に行われました。これは、高校1年の安堂容平さんの「市のために、子どもの考えていることを伝えたい」という提案から実現したものです。参加した生徒からは「家の近くに勉強できる場所がほしい」「子ども議会を作ってほしい」などの意見が多く上がりました。

福津にプロレスがやってきた

九州プロレスを開催



▲歓声と笑いで会場は大変盛り上がりしました

福岡体育センターで、6月24日に九州プロレスが開催されました。およそ170人の観客の中には大人だけでなく、たくさんの子どもの姿もみられました。プロレスラーは派手な格闘だけでなく、「ウミガメ、古墳、宮地嶽神社」という技を繰り出すなど時折笑いを入れ、観客を楽しませてくれました。小学2年生の中村謙志朗さんは「楽しかった。宙返りしながらキックするのがすごかった」と初めて見た格闘技に興味を持っているようでした。